

「新しい文化芸術施設の整備に関する基本計画（骨子案）」への ご意見募集（パブリックコメント）の結果について

1 意見募集の概要

（1）意見募集期間

平成28年1月27日（水）から平成28年2月26日（金）まで

（2）閲覧場所

- ・文化振興課、行政資料室、各区役所、各支所・地域センター、天満屋地下街市民サービスコーナー、岡山シンフォニーホール、岡山市民会館、市民文化ホール、百花プラザ、西川アイプラザ、各公民館、各ふれあいセンター、オリエント美術館、岡山シティミュージアム
- ・本市ホームページ

（3）意見提出方法

郵送、持参、ファクシミリ、電子メール、本市ホームページ入力フォーム

（4）意見提出先

岡山市市民生活局文化振興課

2 意見募集の結果

（1）意見提出者数

295人

（2）意見項目数

181件

※同一意見提出者から複数項目にわたるご意見をいただいている場合があります、また同じ趣旨のご意見はとりまとめているため、意見提出者数と意見項目数は一致していません。

意見の概要と意見に対する市の考え方

No.	区分	意見の概要	意見に対する市の考え方
全般 No.1～34 (意見項目数：34)			
1	意見聴取について	演劇制作者や音響・照明など技術者、演劇・鑑賞活動の主体者の意見を尊重すべき。	「岡山市民会館・市民文化ホールあり方検討会」、「新しい文化芸術施設の整備に関する基本計画検討懇談会」での有識者のご意見や、プロモーター・舞台技術業者など専門家からの意見聴取に加え、今回のパブリックコメントでいただいたご意見などを参考に、基本計画としてまとめ、今後の施設整備の指針としたいと考えています。
2		中ホールの整備については、利用することのない東京の専門家の意見に惑わされることなく、岡山の市民団体の意見こそ大切にしてほしい。	
3		現在利用している市民団体の意見を反映させるべき。	
4		建設コンサルではなく、演劇専門家の意見に耳をかたむけ熟考ください。	
5		今岡山で創造活動をしている市民の声を聞いてほしい。市民の利用しやすい、創造活動を後押しするような施設をよく考えて整備し、市民が文化にふれる機会を保障してほしい。	
6		劇場は演じる側の人間より、市民が観やすく使いやすい規模についての検討が必要。専門家の意見を聞いて観やすい劇場になるよう設計を。	
7	施設のあり方など	現在の利用者、利用状況を土台にしなが、それを発展させる方向でより良い劇場をつくることを考えるべき。	新しい文化芸術施設は、文化芸術を育み、創造し、発信できる機能を備えるとともに、誰もが気軽に立ち寄り、憩い、交流することができる施設を目指し、整備したいと考えています。
8		地域に根ざし、岡山市の芸術文化の拠点として市民が生き生き集い、交流できる劇場をつくってほしい。	
9		高齢者や子供、障がい者など誰もが行きやすく快適に鑑賞できる劇場にしてほしい。	
10		照明・音響の設備が実際に使いこなせる練習の場、中高生が積極的に参加できる拠点にもなる場が望まれる。	
11		西日本の中心的な文化施設としてふさわしい設備、岡山市民の文化レベルを引き上げられる施設設備を望む。	
12		岡山市が誇れる文化芸術の拠点として、県内外からも大勢訪れる施設に。	
13		全国に誇れる文化芸術施設を整備してほしい。そのために予算面で多少無理をしてでも内容を充実させてほしい。	
14		日本及び世界の一流アーティストに来てもらえるように整備してもらいたい。	
15		現在存在する音楽ホール（シンフォニーホール）に続いて、次は演劇専門劇場・ホールを建設してほしい。	
16		倉敷芸文館は大変観やすく、いろいろな配慮がなされている。岡山市にもそのような劇場を作ってほしい。	
17		香川の中ホールの方が観劇しやすい。	
18		搬入口、楽屋、舞台の広さ、客席以外の動線など各地の劇場を参考にしてほしい。	
19		多目的ホールは無目的ホールになってしまう。本当に必要とされているホールをつくるべき。そうでないと赤字を生むだけ。	
20		子育て、教育などを優先し、ハコモノなどは後回しに。	
21		ゼロベースに戻し再考を。	

No.	区分	意見の概要	意見に対する市の考え方
22	整備予定地について	千日前への整備は表町商店街への経済効果も期待できる。	まちづくりの視点、施設の機能の視点、事業の実現性・コストの視点から、新しい文化芸術施設に求められる機能の導入が見込めることなどから、条件を付加して千日前地区市街地再開発事業予定地を整備予定地としています。
23		電車・バスを利用する人の為にも、便利の良い千日前を希望。	
24		千日前では、市外から行く場合に駐車場の確保やバスなど交通の便が問題になってくる。	
25		ホール周辺はイベント時の騒然となる状況が許容できる地域でなければいけないため、千日前は論外。	
26		現市民会館を建て直すか、県立美術館やオリエント美術館の近くに建てて文化施設を集積すべき。	
27		現在の市民文化ホールの場所で建て替えをしてほしかった。	
28		全般 (その他)	
29	備品の導入はイニシャルコストを押し上げる要因。無償譲渡条件付きリースの活用を検討すべき。		
30	本建築と舞台設備は別発注にしてほしい。予算が偏りどちらかに無駄やしわ寄せが発生しがち。		
31	現市民会館にある資産を活用し、他施設との差別化を行い、ステイタスを高めてはどうか。		
32	市民団体の活動に支障の生じない適正な座席数を確保することが、今後の市民団体の活動を支え、劇場の集客効果を最大限上げることになる。		
33	中ホール900席が駄目なら行政側が劇場費を負担してほしい。		
34	テナントが撤退して勢いがなくなったシンフォニービルにならないよう、熟考してほしい。		
事業の考え方 No.35～36（意見項目数：2）			
35	事業の考え方	人材の育成の観点から施設内に専門学校的なものを設けても良いのではないかと。	新しい文化芸術施設では、実演家、文化芸術を支える人材の育成を行うワークショップやジュニア教室の開催など育成事業を進めていきたいと考えております。ご意見も参考にしながら、今後検討してまいります。
36		子どもたちが企画・運営に参画できるプログラムや芸術家と一緒に学ぶことができるワークショップの開催など、子どもや子育て中の親子にとって身近で親しみのある、魅力ある施設にしてほしい。	

No.	区分	意見の概要	意見に対する市の考え方	
諸室計画（大ホールエリア） No.37～54（意見項目数：18）				
37	大ホール 舞台規模	情報・文化拠点のコンセプトにしては規模が小さい。大ホール舞台開口幅23m×奥行18m×高さ12m程度は必要。	様々な舞台芸術に対応できる規模として、開口幅・奥行18m、高さ9m程度としています。ご意見も参考にしながら、今後検討してまいります。	
38	大ホール 舞台機能	吹奏楽や邦楽、民族音楽などの音楽芸術の催しを利用するなら音響反射板は必要。		
39		大ホールはポップス、吹奏楽、邦楽など様々な音楽や集会に使える多目的ホールにしてほしい。音響反射板は必要。		
40		大ホールは音響反射板が必要。シンフォニーホールとの差別化も大切だが、同類の催物が重なった時に複数受け皿があることの方が利点が多い。		
41		大ホールは会議等にも対応する多目的ホールとなっているが、国際交流センターをはじめ市内に既存のものがある。専門性を持たせてもよいのでは。		
42		大ホールは音響反射板を備えないのなら、日本一バトン数が多いなど舞台芸術に特化を。		
43	大ホール 客席規模	現在の利用状況から、大ホールは1,500席程度に減らすべき。	現在の市民会館は、プロセニウム形式で様々な舞台芸術の上演が可能な大規模多機能ホールとして岡山市内で唯一の施設であることや、80%を超える高い稼働率であること、プロモーターや舞台技術業者からの「岡山県の商圏ニーズやこれまでの興行実績から、収支予測を立てやすく、観客動員を図りやすい」といった意見を総合的に勘案し、大ホールの客席数は1,700席程度が適当と考えています。	
44	席数は大ホール1,600席が妥当。			
45	1,700席規模の大ホールでは、舞台の役者さんの声がホールに散ってしまい、臨場感が味わえない。			
46	大ホール客席数は骨子案の1,700席で妥当。			
47	大ホールは2,000席以上必要。			
48	最低2,500席で倉敷市民会館を遥かに上回る規模でないなら新たに建設する必要はない。			
49	大ホールは最低2,500席、希望は5,000席。			
50	国際的な芸術祭やコンクール、学会の招聘なども展開しては。収容人数は最低でも5,000人、可能なら10,000～12,000人規模のプロジェクトにすることを希望。			
51	大ホール 客席機能	オーケストラピットの椅子や車いすスペースの椅子をはずして、収納できるような工夫もほしい。		ご意見は参考にさせていただきます。
52	国際シンポジウムの開催も視野にあるなら、同時通訳ブースを予め設置するほうがよい。			
53	大ホール 多目的室	1階後方の親子室は良い。おむつ替えの台など設置してはどうか。	大ホールは、親子室としての機能を備えた多目的室を設けることを検討しています。具体的な機能や設備の詳細については、ご意見を参考にしながら今後検討してまいります。	
54		幼児や乳児が騒いでも大丈夫な家族用の鑑賞スペースがあると良い。		

No.	区分	意見の概要	意見に対する市の考え方
諸室計画（中ホールエリア） No.55～84（意見項目数：30）			
55	中ホール 考え方	中ホールは岡山にふさわしい演劇専門劇場を作してほしい。	中ホールは、舞台設備を充実させ、主に舞台芸術に利用できるホールで、台詞など肉声の響きに配慮した残響時間や響きを備えるものとしたいと考えています。具体的な機能や設備の詳細については、ご意見も参考にしながら今後検討してまいります。
56		岡山市民が誇れる、日本の演奏家、役者が憧れる舞台芸術専門ホールとしてほしい。	
57		音楽専門のシンフォニーホールがあるので、演劇に焦点を当てた演劇専門劇場にしてほしい。	
58		演劇を主に考えると、残響が少ないことが望ましい。生の声が聴きやすいようにしてほしい。	
59		中ホールはマイクを使わなくても最後列の客席まで声が届く構造にしてほしい。	
60		中ホールは、舞台を観やすい距離感にしてほしい。	
61	中ホール 舞台規模	中ホール舞台開口幅19m×奥行14m×高さ9m程度は必要。	中ホールは、様々な舞台芸術に対応できる規模として、開口幅・奥行14.5m、高さ8m程度を想定しています。ご意見を参考にしながら今後検討してまいります。
62		中ホールであっても舞台サイズは大ホール並のグレードにしてほしい。	
63		舞台の広さ等は欲しいが、席は狭くてもよい。かえって臨場感が増すし、席数も増やせるのではないか。	
64	中ホール 舞台機能	中ホールの可動式音響反射板は不要。	市民文化ホールがこれまで担ってきた比較的小規模な音楽利用にも対応できるよう音響反射板の設置を検討しております。音響反射板は、可動格納型で、舞台芸術の上演に影響がないものを考えてまいります。
65		中ホールの音響反射板は、天井反射板が吊られているタイプは舞台芸術の上演の支障となることが多いため、シューボックスタイプが望ましい。	
66	中ホール 客席規模	芝居を観るには中ホール400～500席が一番良い。	岡山市中心部で舞台芸術の上演に適した中規模ホールは市民文化ホール（802席）だけですが、利用者の大半を占める市内の様々な芸術文化団体が、日頃の活動の発表の場として利用しやすい規模であることや、舞台芸術の上演において臨場感を保てる規模、舞台までの距離など観客が観やすい規模が望ましいとする有識者の意見、また他都市の文化施設へのアンケート結果などから、中ホールの席数は、現行の市民文化ホールと同規模である800席程度が適当と考えています。
67		中ホールは市民が気軽に利用できる500席以下のホールを希望。	
68		中ホールは600席程度の舞台芸術に利用できるホールがよい。	
69		中ホール客席数は600～700程度でよい。	
70		中ホールは、演じる側の意見として600～800席が理想。	
71		中ホール客席数は骨子案の800席で妥当。	
72		中ホールは850から880席程度にしてほしい。	
73		中ホールは最低でも850～900席規模を希望。	
74		中ホール客席は900～950席くらい欲しい。	
75		現在の利用状況から、中ホールは900～1,000席程度に増やすべき。	
76		伝統芸能の鑑賞できる1,000席程度のホールが欲しい。	
77		座席数900席の演劇専門劇場を建設してほしい。	
78	900席規模のホールが必要。基本計画に「にぎわいの創出」とあるが、観劇の前後に食事やお茶、お酒を楽しむ人も多い。演劇という文化を広げ支え、にぎわいづくりにも一役買えるのではないか。		

No.	区分	意見の概要	意見に対する市の考え方
79	中ホール 客席機能	中ホールを2つに分けて使えるようにしてほしい。	ご意見は参考にさせていただきます。
80		ミュージカルの際、舞台つらの上手下手に大きなスピーカーや照明機材をセッティングする為、客席からの見切れが気になる。持ち込み機材を置くスペースがあれば観客の見やすさにつながる。(上手下手に花道があれば問題なし)	
81	中ホール 客席設備	演劇を集中して見られる一体感のある黒壁の客席がベスト。	ご意見は参考にさせていただきます。
82		客席は、高齢者や子供にやさしいスロープ状か緩やかな階段状に。	
83		サイドのテラス席はやめたほうが良い。	
84		ハリアフリーで1スロープのホールが望ましいが、2階席がある場合は必ずエレベーターを	
諸室計画(創造支援エリア) No.85~88(意見項目数:4)			
85	大スタジオ	スタジオは300席としてほしい。	大スタジオは、300㎡程度の面積で可動格納型の客席を備え、小規模な創造活動や発表会、鑑賞事業などにも活用できるものになりたいと考えております。具体的な機能や設備の詳細、客席数などについては、ご意見を参考に今後検討してまいります。
86		200席くらいの小ホールが必要。	
87		スタジオは、演劇やダンスなどの自由で実験的な作品作りに適したブラックボックスとしてほしい。	
88	練習室・リハーサル	練習室は多ければ多い方が良く、有料イベントの実施も可能な運用としてほしい。	ご意見は参考にさせていただきます。
諸室計画(交流促進エリア) No.89~96(意見項目数:8)			
89	交流促進 エリア	オープンスペースは様々な用途で使用可能な汎用性を持たせてほしい。	交流促進エリアは、施設利用者だけでなく、誰もが自由に使うことができる空間を提供するオープンロビーや施設利用者の便益性を図るための情報コーナーなどの設置を考えております。具体的な機能や設備の詳細については、ご意見を参考に今後検討してまいります。
90		ロビーなどに座れる場所を作ってほしい。	
91		待ち合わせ場所があると便利。	
92		アロマや音楽で疲れた体を癒せる仮眠室があると良い。	
93		ネットや勉強ができるパネルで区切られた一人用スペースがあると良い。	
94		Wi-Fiにつながるスペースがあると良い。	
95		IoTを取り入れPCなど積極的に活用できるゾーンをつくる。	
96		バーカウンターを作る場合はホール内にも外にも提供できる二重窓口のカフェスタイルがよいのでは。	
諸室計画(管理エリア) No.97~98(意見項目数:2)			
97	管理エリア	管理事務所は各エリアに素早く行ける位置でなければならない。	ご意見は参考にさせていただきます。
98		楽屋口を設ける場合は、ホール側の警備室を設けた方がいい。	
諸室計画(その他) No.99~119(意見項目数:21)			
99	客席規模全 般	現施設より大きい規模の客席とするべき。同じなら、改修で良い。	大ホール・中ホールの客席規模についての考え方はそれぞれNo.43~50、No.66~78のご意見に対する考え方で示したとおりです。
100		市民会館、市民文化ホールと同規模での合体では、中途半端な結果になる。	
101		シンフォニーホールがあるので、大ホールは必要ない。中ホール(900~1,000席程度)と小ホール(450席くらい)にしてほしい。	

No.	区分	意見の概要	意見に対する市の考え方
102	客席機能・設備全般	プロセニウムは暗めなマットな色調にしてほしい。	ご意見は参考にさせていただきます。
103		舞台袖の中の壁は黒に。	
104		デザインは特殊な設備はなくして、シンプルで機能的に。	
105		華美な装飾は避けて観劇に集中できるようなデザインを考えてほしい。	
106		ボタンを多めに。	
107		電動ボタンだけでなく手動ボタンも必要。	
108		緞帳の前にも1~2本ボタンがあると便利。	
109		ボタンとボタンの間隔も十分検討を。	
110		大ホールも中ホールも舞台の奥行があるので、講演会や大会に対応できるよう、舞台奥行を調整する中幕は複数必要。	
111		多目的とはいえ、よく利用される機構は採用し、利用が少ないものは採用すべきではない。	
112	座席機能・配置など	ゆとりのあるシート配置とし着席が容易になるようにしてほしい。	座席はゆとりのある幅と奥行きを考えています。具体的な機能や配置の詳細については、ご意見を参考に今後検討してまいります。
113		前に背の高い人が座っても観やすくなるよう座席は千鳥配置としてほしい。	
114		座席をもっと快適な座り心地の良いものにしてほしい。	
115		客席はゆったり座れるように広くしてほしい。	
116		前後の座席の高さを大きくして、前の人頭が邪魔にならず、舞台の人の顔まで見えるようにしてほしい。	
117	諸室について	楽屋以外にスタッフの荷物置き、着替え等できる部屋が必要。	ご意見は参考にさせていただきます。
118		シャワールームとは別に洗濯室を設置してほしい。	
119		託児施設を設置してほしい。	
施設計画 No.120~152（意見項目数：33）			
120	電気設備等	舞台上は乾燥するので、長時間連続で舞台に立つ役者のため湿度調整を検討してほしい。	ご意見は参考にさせていただきます。
121		客席と舞台が個別に空調調節できるように。できれば客席に床暖房。	
122		空調設備や給水設備と舞台機構は設計段階から連携して考える必要がある。	
123		袖明かりが仕込めるよう平行電源を。	
124		楽屋廊下の電源を3~4系統にしてほしい。	
125		仮設電源は館内に分散配置も検討しては。	
126		客席内に音響や照明の回線、電源などの設置を。	
127		発電機が繋ぎ込めるよう駐車スペースと排ガスのコントロールも一考を。	

No.	区分	意見の概要	意見に対する市の考え方
128	搬入口について	搬入口は、大ホールと中ホールで別にすべき。	大ホール、中ホールのそれぞれに専用の搬入口を計画しており、大型の搬入物を簡便で安全に舞台まで移動することができる動線の確保や、風や雨雪など天候に制約されない配慮を行うこととしています。具体的な機能や設備の詳細については、ご意見を参考に今後検討してまいります。
129		搬入口に面した荷捌き場は必要で、大・中ホールそれぞれ専用確保が望ましい。	
130		搬入口はプラットホーム、屋根をつけてほしい。	
131		搬入口は、舞台、楽屋、客席にも機材を運びやすい位置に配置、経路は幅を広く、段差の無いフラット形状が理想的。	
132		搬入口で出る音が住居エリアに迷惑をかけないよう防音・遮音対策を講じるなど配慮が必要。	
133		搬入条件が整うなら、中ホールは階上設置でも良いのでは。	
134	出演者・関係者動線など	楽屋は舞台と同じフロアが望ましい。	楽屋や付帯設備等は、舞台への登退場に支障がない位置に計画し、様々な出演者に対応できる規模と機能を備えることとしています。具体的な機能や設備の詳細については、ご意見を参考に今後検討してまいります。
135		楽屋の位置や舞台袖、舞台裏の通路スペースを検討してほしい。	
136		洗濯室には洗濯機や乾燥機、手洗いでできるシンクを備付けてほしい。	
137		楽屋廊下は3m以上に広くしてほしい。	
138		観客が出演者として舞台に出る催しのため、客席から舞台・楽屋に行くことができる通路の検討を。	
139	創造支援エリア関係動線について	創造支援エリアは、防音性(遮音性)を確保し、単独で使えるようにするとともに、臨時の楽屋・控室としても使えるように、大ホールまたは中ホールからの呼び出しや、舞台上をモニターできる設備を備えていなければならない。	ご意見は参考にさせていただきます。
140	施設利用者動線	通路は広くしてほしい。	新しい文化芸術施設は、誰もが気軽に立ち寄り、憩い、交流することができる施設としたいと考えており、高齢者や障がい者、子どもなども制約なく利用できるような構造や設備を検討してまいります。
141		足の悪い方や高齢者のためにエレベーターやエスカレーターを設置してほしい。	
142		バリアフリーで階段の少ない構造の劇場を建ててほしい。	
143	設備(トイレ)	十分なトイレの数を確保してほしい。	ご意見は参考にさせていただきます。
144		女子トイレを需要に見合った数に多くしてほしい。	
145		大ホールと中ホールのトイレはつい立て等でどちらでも使えるようにできないのか。休憩時間が違えば有効に使用できる。	
146	施設計画全般	外観をガラス張りとするオープンなイメージがあるが、中は温室のように温度が上がり、空調効果が得られない。ロビー・ホワイエに集う方々にとって快適な空間となるよう設計してほしい。	ご意見は参考にさせていただきます。
147		機材はより最新のものが入力できるよう発注時期の検討を。	

No.	区分	意見の概要	意見に対する市の考え方
148	駐車場 駐輪場	主催者用の駐車場は必要。	新しい文化芸術施設の整備によるまちのにぎわいづくりや回遊性の向上などを目指しており、主として公共交通利用や徒歩、自転車での来場を想定しています。出演者・関係者、障がい者、団体鑑賞用バスなどの駐車スペース、駐輪スペースについては確保を検討してまいりたいと考えています。
149		高齢者、障害者の駐車場もある程度備える必要がある。	
150		現地スタッフは車来場が多いので関係者駐車場は必要。	
151		利用者駐車場の確保をすべき。	
152		駐輪場の確保が必要。	
概算整備費 No.153（意見項目数：1）			
153	概算整備費	整備費の透明化をすべき。	ご意見は参考にさせていただきます。
管理運営の考え方 No.154～174（意見項目数：21）			
154	管理運営 全般	従来の貸館主体の運営の発想を変え、専門職員の配置に力点を置いてほしい。	新しい文化芸術施設は、文化芸術を育み、創造し、発信できる機能を備えた専門性の高い施設として、管理運営については施設や設備を安全に運用し、また事業や活動の成果を最大限に引き出ししていける体制や取り組みが必要と考えております。ご意見を参考に今後検討してまいります。
155		ホールを安全に利用してもらうため、専門的知識を持ったホール職員の確保が必要。ある程度の人数も必要。	
156		管理運営には命を懸けて芸術文化施設を運営できる人材を。	
157		工事引渡し後の修熟訓練期間は可能な限り十分とったほうが良い。	
158		中ホールで「創造し、発信」していく催しが数多くなされていくために「企画・制作」の人材が相当数必要と考えるが、育成には長い期間が予測されるため、すみやかに取り掛かり、進めていくことを望む。	
159		芸術監督を中四国の先陣を切って置いて欲しい。	
160		芸術監督を置くなら、岡山の地に広く文化が根付いていくことをイメージしながら努力される方にしてほしい。	
161		技術関連の打ち合わせの際、中立的な立場で設備構築をする技術コーディネーターは必要。	
162		組織図の大区分は「総務」「事業」「施設管理」とし、プロダクションマネージャーは「事業」の下に、舞台技術は「施設管理」の下に置くと部門間の横連携が取りやすいのでは。	
163		運営について、「協働」の考え方を取り入れて、よりよい管理運営のために、行政と市民、施設管理者が意見交換できる場を定期的に持つような仕組みを作ることが大切。	
164		劇場に市民が集い、賑わいのある劇場になる仕組みをどのようにつくっていくのか、劇場を利用するNPOや芸術文化団体、行政が「協働」していくことが重要。	
165		管理運営に対しては、専門性は確保されつつも、市民が評価や運営に関わる仕組みを作り、市民と一緒にホールを育てていくという考え方が必要。	
166		運営組織のあり方を意味あるものにするためには、施設利用者の代表者が入った運営委員会を組織し、定期的に開催することが必要。	

No.	区分	意見の概要	意見に対する市の考え方
167	料金関係	休日や時間外のホールの使用についてホール管理者との協議や料金設定により柔軟に対応してほしい。	ご意見は参考にさせていただきます。
168		連続で4ステージ以上の公演をするときは優先的に予約ができるようにしてほしい。	
169		使いやすい利用形態、割引制度などの検討を。	
170		利用料の大幅な減免をしてほしい。	
171		安い料金設定とし、市民も気軽に発表したり稽古ができるようにしてほしい。	
172	収入について	収入の柱としてネーミングライツと協賛企業を考えてはどうか。	ご意見は参考にさせていただきます。
173		屋外広告スペースを設置し、スポンサーを募ってはどうか。	
174	収支の考え方	採算の長期プランを示してほしい。	文化事業を展開していくためには、一定の公費負担が必要となりますが、助成金や補助金、協賛金の獲得や営業活動による独自財源の検討など、自己財源比率を高めるよう努めてまいりたいと考えています。
その他 No.175～181（意見項目数：7）			
175	その他	新施設が出来上るまでの流れ（経緯）をいつでも見られるようにパネルで展示してほしい。以前この場所にどんな建物があって、どのように変化したか分かる解説付きパネルを掲示してほしい。	ご意見は参考にさせていただきます。
176		周辺の開発整備もあわせたプランをつくるべき。	
177		市中心部の地区に応じた機能を明確にすべき。A)出石町、丸の内など：景観、岡山城など B) 天神町など：芸術、創作、発表展示 C)上之町、中之町、下之町など：ショッピングゾーン D)千日前：市民会館中心にエンターテイメントゾーン	
178		めぐりんバスを他社と共同運行するなど、ホールに限らず使いやすく、行きやすくしてほしい。	
179		大ホールは必須と考えるが、1階と地下は駐車場にして、中ホールから上は高齢者向けの特養など住居空間にしてはどうか。高齢化が進み、どれだけの人に芸術創生の意欲とニーズがあるか分からない。財源があるなら保留しておいて、老人施策に向けた方が賢明ではないか。	
180	他施設関係	音楽（特にクラシック音楽）はシンフォニーホール及び既存のホールで対応すべき。	新しい文化芸術施設と、岡山シンフォニーホールとは機能の分担を意識して整備し、互いに連携し、相乗効果を生み出せるよう考えてまいります。
181		シンフォニーホールの不満点を改修し、有効活用することが重要。	